

学習指導案

- 1 授業者氏名 佐々木 英了
- 2 科目・単元 土木施工 コンクリート工
- 3 日 時 平成23年度10月19日(水) 第2校時
- 4 場 所 CAD室
- 5 対象学級 海洋開発科3年生 18名(男子17名、女子1名)
- 6 生徒観 施工試験に補足するような形で授業を進めてきた。クラスの雰囲気はとても良く、何に対しても一生けん命に取り組むことができる。クラスを乱す生徒や授業妨害をする生徒はまったくない。しかしながら自分の意見をクラス生徒の前で堂々と言えないなどという生徒もなかにはいる。クラスの約半数の生徒は理解力、数学力が低く、よりきめ細やかな指導が必要である。
- 7 教科書 土木施工(実教出版)
- 8 本 時 残りコンクリート処理について
- 9 指導目標 実習でいままで何気なく処理していた残りコンクリートについて、どのようなことに注意し処理すればよいのかを考えさせ理解を深めさせる。
また、調べ学習を通して問題解決を図らせる。
- 10 観点別評価基準
 - ① アンケートの理由提示ができる(技能・表現)
 - ② 正しい処理方法・再利用について学ぶ(知識・理解)
 - ③ 残りコンクリート処理方法について今後どうすべきか考える(興味・関心)

11 指導の展開

段階	時間	指導項目	指導内容（学習活動）	指導上の留意点
導入	10分	本時のテーマ 残りコンクリート どうする？	板書① コンクリート実習で使用した残り コンクリートの処理どうする？	プリント配布 ① いくつかの事例をあげ、 線引きをする。 あくまで個人の判断で 答えさせる。 ※机間巡視 観点①
展開	30分	アンケート 結果から考える	板書② V. そのまま洗い流す 発問1) 川にアルカリ性の強い 排水が流れると？ アルカリ性の強い廃水 板書③ IV. 固めて捨てる（敷地外） III. 固めて捨てる（敷地内） 発問2) 産業廃棄物と建設副産物 の違いについて 板書④ II. 固めて砕いて砂利として I. 固めて砕いて骨材として 発問3) 設計基準強度を クリアすることはできるか？	(インターネット学習) コンクリート汚泥について ・再利用できない ・魚大量死（埼玉県熊谷市） ※机間巡視 観点② (インターネット学習) ・管理型最終処分場（埋め立て） ・建設副産物に該当しない ※机間巡視 観点② (インターネット学習) 骨材として再利用 ※机間巡視 観点②
まとめ	15分	本時のまとめ 残りコンクリート 今後	発問3) 今後の処理の仕方は？	プリント配布 ② ・固めて砂利の足りない所に敷く ・砕いて骨材として使用 ・設計基準強度を出す 観点③